

報告日 令和7年12月8日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	糸魚川市役所			代表者名	久保田 郁夫
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務部企画定住課	連絡先電話番号	025-552-1511
担当者役職	主事	担当者氏名	石井 康一	連絡先E-mail	
住所	941-8501 新潟県糸魚川市1丁目2番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	自治体マーケティング実践事業
概要	「消滅可能性自治体」に指定された当市が、今後も存続するために今必要なコト・モノは何なのか、自治体マーケティングを実践する若手有志の庁内プロジェクトチームを立ち上げた。当該チームにおけるEBPMを実現するための助言をいただきたい。		
支援を求める分野	計画策定支援 プロジェクトマネジメント支援 オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	721	令和7年12月5日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月26日	事前打合せ&支援・助言（実地）	10時30分	17時15分	60
				活動時間（分）	345
派遣場所	会場名	糸魚川市役所		最寄駅	糸魚川駅
	所在地	新潟県糸魚川市一の宮1-2-5		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	・他自治体の成功体験を交えながら、データ分析やマーケティングに関する考え方を詳細に伺うことができ、自治体マーケティングに必要な基本的内容や手法を理解することができた。 ・庁内向けの研修として、自治体マーケティングに関する講演とワークショップを実施していただき、マーケティングの必要性や手法、考え方などを庁内展開することができた。取組に賛同してくださる庁内職員もあり、今後の更なる展開に期待をしている。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	13人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	13	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	加速度的に人口減少が進む当市は「消滅可能性自治体」に指定されているが、将来にわたって自治体を存続し、住民福祉の向上を図るために各種事業に取り組んでいる。しかし職員は日常業務（例:窓口対応や文書の探索、作成等）に忙殺され、本来重要な戦略策定や、そのための調査・分析に注力しきれず、場当たり的な事業立案になりがちな現状がある。その現状を打破するため、将来の責任世代である20代から30代の若手職員有志が、自治体マーケティング（市場分析）を実践する庁内プロジェクトチームを立ち上げた。令和6年度には先進事例（自治体、民間企業）を視察し、その知見をもとにした庁内研修等を実施するとともに、SNSマーケティングを実践する市公式Instagramの運用を始めている。当該プロジェクトチームは、自治体マーケティングの実践結果による市施策の立案や、マーケティング戦略の策定を構想している。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和7年度末までに、本アドバイザー派遣によって得た知見等を参考に自治体マーケティングを実践し、その結果に基づく市事業を立案する（EBPM）。 令和8年度は、上記の市事業を実践するとともに、その結果を検証し、令和9年度末までに糸魚川市マーケティング戦略（案）を作成する。 これらの成果や戦略（案）を通じ、市事業の効率化を図ることで、人口が減ったとしても健全に継く行政運営と、住民福祉の向上を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①自治体マーケティングにおける他自治体の成功事例紹介 ②マーケティングにおける必要な考え方や手法の紹介 ③当市にあてはめた場合の取り組むべき事業内容の整理 ④本取組を庁内展開にするための、自治体マーケティングに関する講義、ワークショップ (①、②を含む)
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・自治体マーケティングの他地域の成功事例から、当市において取り組むべき内容をある程度整理できた。 ・データ分析におけるデータのとり方、マーケティングへの活用方法などを理解できた。 ・講義、ワークショップを庁内研修として実施したことで、庁内プロジェクトチーム以外の職員にも自治体マーケティングの必要性、手法、考え方などを庁内展開できた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない <input type="checkbox"/> ③回の派遣日程を通じ、立案する市事業を決定していく。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・今後当市が取り組むべき市事業の立案
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても構築です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 庁内プロジェクトチームの取組内容に関してアンケートを実施した。庁内プロジェクトチームの自治体マーケティングに対する取組に対し、好意的な意見が多くあった。また、今後もテーマによっては協力・参加したいという職員が大半を占めており、多くの職員を巻き込んだ事業展開を行っていきたい。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある まずは自治体マーケティングにおける基本的な考え方、手法などを理解できたので、次回以降は具体的に糸魚川市として何に取り組むべきなのか分析を行い、具体的な市事業の立案に繋げたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	EBPMに基づいた市事業の立案と実践による、健全な行政運営の確保と住民福祉の向上
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 <input type="checkbox"/> ○掲載可 https://www.ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子	
今回の派遣における 地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」 を数枚程度貼り付けて下さい。	
	